

町会・自治会会館建設等補助事業【事業概要】

1 補助金事業開始の目的（理由）					
町会・自治会会館の建設等に要する経費の一部を補助することにより、地域住民の自主的活動の場を確保し、良好なコミュニティの形成及び発展を図る。					
2 これまでの経緯（開始年度、根拠法令の改正、対象者・補助金額の見直し状況等）					
昭和57年度開始					
3 補助金の概要					
(1) 根拠法令 墨田区町会・自治会会館建設等補助金交付要綱					
(2) 補助対象者 町会・自治会					
(3) 補助金の算定基準					
ア 新築等（新築・増築・改築・修繕・模様替え・耐震診断）又は建物の購入若しくは建物に係る賃借権の設定は、経費の50%以内とし、通算期間（5年度間）内に500万円を限度とする（ただし、修繕及び模様替えについては、修繕等に要した経費が100万円以上であることが必要）。					
イ 土地の購入又は土地に係る賃借権の設定は、経費の50%以内とし、通算期間にかかわらず500万円を限度とする。					
(4) 予算の推移（5年間分） 単位：千円					
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
歳出当初予算額	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000
歳出決算額	21,249	23,092	8,379	6,340	
4 他区の実施状況・類似補助金の有無					
【他区の状況】					
実施 16区 未実施 6区					
補助金額等の設定については、他区に比べて低く設定されている。特に、新築においては、算出方法（割合等）に違いがあるが、おおむねの区の限度額は、1,000万円以上となっている。					
【類似補助金】					
なし					
5 これまでの実績・成果					
(1) 実績（活動指標） 「()」は目標値					
活動指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
申請件数(件)	8	6	3	4	3

(2) 成果・効果(成果指標)

地域活動の拠点となる町会・自治会会館を所有する町会・自治会に対して補助を行うことで、町会・自治会の自主的活動を促し、地域コミュニティの発展に寄与している。

6 課題

補助の対象として、会館の延床面積が50㎡以上必要となっているが、近年マンション内に会館を整備する町会・自治会が増えており、補助条件を満たさないケースが増えている。

7 今後の方向性

引き続き事業を実施し、地域コミュニティの活性化を図っていく。

町会・自治会会館建設等補助事業【区民行政評価結果】

委員会総合評価	委員会総合評価理由
C	<p>町会・自治会館の建設等に対する補助は、時代や墨田区内での地域性に即した事業として、補助の必要性・公益性は一定程度認められる。今後は、町会・自治会のあり方、自主的な活動拠点のあり方を見直し、町会・自治会の主体的な活動を促進するための地域特性を考慮したコミュニティづくりの場を形成するよう、会館の利用実態を把握に努めた上で検討されたい。</p>
<p>補助による一定の効果があり、対象者の見直し等により更に効果拡大が期待できる。</p>	

個人評価内訳				
A	B	C	D	E
0	2	3	2	0

個人評価内訳				
	必要性	公益性	効率性	適格性
	5	4	0	2
	2	3	6	5
x	0	0	1	0

評価Bとした委員の意見

町会・自治会の活動を会館で全て運用するのがいいかどうか分からない。例えば、大型マンションの共有スペースに区の施設として集会所等を設け、無料で利用することができるような仕組みもあるのではないかと。自治会館のあり方は曲がり角に来ていると思う。

自前の会館がない町会が半数以上もある現状において、町会・自治会が主体的に活動するためには、いつでも活動できる会館があった方がよいと思う。新しい取組として、複合施設に自治会の共同の場所を作るなど、21世紀のビジョンを広げ、現代の10代の青年・若者も集まるコミュニティ活動の拠点づくりを考えてほしい。

評価Cとした委員の意見

地域の活動の拠点としての会館の必要性は認めるが、町会等の担い手の高齢化、人口減少やコミュニティの変容による会館の維持管理や活動の継続に課題がある。地域における箱物施設は地域集会所や公民館など多数整備されているので、民間の施設を含めて、様々な施設の相互利用を考え、施設のあり方を検討してほしい。さらに、会館のある町会とない町会との財源の配分の差が気になる。また、

コミュニティ活動の観点では、自治会、老人会、子ども会、婦人会という形で細分化することで逆にコミュニティ活動を阻害することになるため、それらを包含したコミュニティづくりの場を形成するような事業を構想すべきである。

予算に対する決算が少ないので、事業の必要性、需要性は低いと感じた。今年度から耐震診断等にも拡充され、今後の申請は増加する可能性も高いと思うが、当初の本事業の目的とズレているような気がする。また、会館自体が地域コミュニティの活性化を促しているかが疑問である。一方で、防災拠点等の役割もあるので、会館としての一定の役割はあると思う。

今後、町会・自治会会館は子育て支援や福祉などを提供する場としての役割やニーズが高くなっていく可能性と期待を考えると必要性はあると思う。区の説明だと、町会を持ってもらい、将来的にはNPOなどへの移行を目指してもらいたいということだが、将来の少子高齢化を考えると、本当に町会という場所の所有の推進が正しいかは検討が必要である。住民一人ひとりが参加でき、利益を享受できる、開かれた団体としての活動を促進してほしいと思う。

評価Dとした委員の意見

会館自体はコミュニティの独自活動を行う拠点として一定の必要性や有効性があると思う。一方で、会館を利用した活動の実態把握が全くなされていない点は大きな課題である。また、町会が会館を独自に所有することが必要なのか、かえって活動の負担になっていないかという疑問もある。補助金や公的な居場所づくりだけではなく、地域の自発的なニーズに合わせた共助の力を活かしたまちの居場所づくりという観点で大きく見直してほしい。

地域のコミュニティ形成と発展のために活動の基盤となる会館の役割は一定の効果はあると思うが、果たして建物を占有する必要があるのかについては不明である。過半の町会等が会館を持たずに活動している中、会館がないことによってコミュニティ活動が本当に制約されるのかが具体的な活動実績・会館利用実績等による説明がなかったため分かりにくいと感じた。会館のない町会等の活動状況や会館の利用状況について実態調査をした上で、会館の必要性や手段の有効性について今後も継続して検討してほしい。

商工業融資事業（利子・信用保証料補助）【事業概要】

1 補助金事業開始の目的（理由）

中小企業者向け融資の金利や信用保証料の負担軽減を図ることにより、資金繰りを容易にするとともに、財務体質強化の一助など経営支援の一つとして実施する。

2 これまでの経緯（開始年度、根拠法令の改正、対象者・補助金額の見直し状況等）

昭和40年 4月 墨田区商工業融資あっせん開始
 平成19年10月 商工業融資の補助金制度の見直し
 これまで補助施策の重点を信用保証料補助においていたが、原則としてこれを取りやめ、代替として各融資資金に対し支払利子の一部補助を行うこととした（アスベスト対策及び公害防止の両資金のみ、利子及び信用保証料の全額補助を行う。）
 平成20年10月 経営安定資金の保証料全額補助開始
 平成21年10月 各融資の金利を2.0～2.2%に決定（現在に至る。）
 平成25年 4月 従前の創業支援資金を改め、チャレンジ支援資金とし、同資金の信用保証料の全額補助を開始

3 補助金の概要

（1）根拠法令

墨田区商工業融資要綱

（2）補助対象者

ア 利子補助金

区商工業融資各資金の融資実行を受けた区内中小企業者

イ 信用保証料補助金

区商工業融資のうち、公害防止、アスベスト対策、チャレンジ支援、経営安定の各資金について、東京信用保証協会の保証を受けて融資実行を受けた区内中小企業者

（3）補助金の算定基準

ア 利子補助金

墨田区商工業融資要綱第8条及び第9条の規定により、短期プライムレート、東京都、他区の状況及び金融機関の意見等を取り入れ、総合的に判断して算定する。

イ 信用保証料補助金

墨田区商工業融資要綱第13条並びに付則第4項及び第5項に基づき、保証協会により課された信用保証料の全額補助を行う。

（4）予算の推移（5年間分）

ア 利子補助金

単位：千円

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
歳出当初予算額	523,452	469,325	424,253	375,998	318,007
歳出決算額	433,286	389,243	335,335	278,578	

イ 信用保証料補助金

単位：千円

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
歳出当初予算額	152,670	121,525	114,667	49,102	57,762
歳出決算額	121,234	85,471	68,337	37,372	

4 他区の実施状況・類似補助金の有無

【他区の状況】

中小企業への補助金事業については、個々の自治体がそれぞれの政策目的により独自の融資メニューを用意していることや、区ごとに補助割合や件数が異なるため、比較が難しい。

また、利子補助については他の22区全ての区が行っているが、信用保証料については各区で考え方が異なっており、全く補助を行っていない区もある。

【類似補助金】

なし

5 これまでの実績・成果

(1) 実績（活動指標）

活動指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
利子補助金 延べ補助件数	21,447	21,743	20,921	19,580	17,733
信用保証料補助 金補助件数	920	607	488	273	259

(2) 成果・効果（成果指標）

成果指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
各融資資金 申込件数	2,260	2,201	2,010	1,527	1,671
各融資資金 実行件数	1,962	1,818	1,647	1,271	1,486

6 課題

社会経済環境の変化や国による景気対策・金融政策によって、融資申込需要の増減に大きく影響するため、融資件数の年間申込みや補助による成果等の予測が難しい。

7 今後の方向性

補助事業を通じて、区内中小企業者が低利で融資を受けられるなど金融の円滑化に寄与する一方、機械的で一律的な補助ではなく、期待できる政策的な効果や社会経済環境の変化に合わせた利子及び信用保証料の補助のあり方を点検し、改善することが重要である。

商工業融資事業【区民行政評価結果】

委員会総合評価	委員会総合評価理由
D	<p>補助の目的と政策への影響度、達成度、貢献度が全く見えないため、本事業の公益性・効率性・適格性に疑問がある。効果の把握についての裏付けとなるデータの収集・作成が必要である。今後、企業が事業活動をしやすくなるような環境を整備することが必要であり、一律に補助をするのではなく、支援すべき対象を精査して効果的な補助制度となるよう検討されたい。</p>
<p>補助の継続は必要であるが、効果が不高くないため、見直しが必要である。</p>	

個人評価内訳				
A	B	C	D	E
0	1	2	4	0

個人評価内訳				
	必要性	公益性	効率性	適格性
	3	1	0	0
	4	6	6	7
×	0	0	1	0

評価Bとした委員の意見

考え方にPDCAサイクルが含まれていないと思う。まず、現状認識が十分になされていないという印象がある。ただし、現実問題として、本事業を必要とする中小企業の方々もいるので、急に大幅な変更をすることは難しい状況だと思うので、可能なところから見直しをしていただきたいと思う。

評価Cとした委員の意見

事業目的と政策への影響度、達成度、貢献度が全く見えてこない。まずは、効果をしっかりと把握し、本事業が本当にその目的を達成できているのか、効果があるのかを把握していただきたい。その上で、政策への有効性を判断し、的確な中小企業振興策を実施してほしい。

中小企業の多い墨田区では本事業の必要性はあると思う。ただ、その効果に関するデータがないため、本事業の有効性に疑問がある。今後、社会経済環境の変化に合わせた利子や信用保証料の補助のあり方を検討する上でも、裏付けとなるデータの収集と作成は必要であると思う。

評価Dとした委員の意見

区の特長として地域産業を育成したいということはある程度理解できるが、この事業において公的資金を投入するという面では、区が民間事業者の支援をする意義は薄く、その効果が全く見えない。補助を投入するという政策的な意味をもっと整理し、大きな改善が必要だと思う。特に、評価指標の設定や補助終了目標の整備は必至である。区を上げて民間事業者を支援するのであれば、単に補助だけではでなく、例えば、起業の際には区の広報等に事業者名を掲載して応援するとか、クーポン券等を発行してその商品の販売を促進するとか、やり方はほかにもあるのではないかと思う。

政策的に重点化される融資事業の意図や効果が見えづらい。明確なビジョンに基づき、補助すべき企業の選択や特定があってもよいと思う。機械的に一律に補助を行うのはかえって企業の成長につながらないため、補助の効率的な運用や対象にプライオリティを付けて明確な効果が出るよう検討してほしい。効果測定も定性的であっても実施すべきで、事業又は課で単独でできないのであれば事業や課をまたがって、効果をまとめて公表すべきだと思う。

区内の事業者数を一定数保ち、区内の経済状況を安定させる目的は理解できるが、補助による効果が分かりにくい。この補助金が区内の事業を活性化させているという根拠を提示してほしい。ただ、本事業の必要性は認められるので、制度の効果等を把握し、全体を見直してほしい。

中小企業の経営向上と安定を図るのが本来の目的であれば、一番必要なのは企業の自助努力であり、事業計画の見直しと財務計画の強化であり、行政が行うべきことは、企業が事業活動をしやすいような環境整備ではないかと思う。また、融資あっせん事業そのものを業務委託している自治体もあることを考えれば、そもそも区が行うべき事業なのかという疑問も感じる。